

Check!

「自分は大丈夫だと思っていませんか？」
だまされない賢い消費者になろう!!

引っ越しサービスをめぐる トラブルに注意!

事例1

午前中の作業を指定した引越業者が18時ごろになってようやく来たが、謝罪もなかった。作業終了後、荷物が1つなくなっており、翌朝業者に伝えたところ「専用の箱に荷物を入れて鍵をかけて運ぶので紛失は考えられない」と言われた。業者の対応が悪すぎる。

(専門学校生 男性)

事例2

インターネットで見つけた引越業者に見積もりを依頼した。すぐに業者から電話があり、口頭で見積額を提示され、段ボールや契約書類を送ると言われるなど、相手のペースで話が進み、よく考えずに了承してしまった。その後、別の業者からも見積もりを取り、結果的にそちらと契約を決めたため最初の業者を断ったところ、段ボールの代金と送料を請求された。どうすればよいか。

(大学生 女性)



出典:独立行政法人国民生活センター

ひとこと助言

- 引越業者を選ぶ際は、複数の業者から見積もりを取り、作業員数や補償等、価格以外の条件についてもよく検討することが大切です。
- 契約時は、見積書を受け取るとともに必ず約款を確認し、疑問点があれば事業者に聞きましょう。
- 梱包用の段ボールの返送料等をめぐり、トラブルになることがあります。契約先が確定する前には受け取らないようにしましょう。
- 紛失や損傷がある場合は事業者には速やかに連絡する必要があります。引っ越しが完了したらすぐに荷物の状態等を確認しましょう。
- 困ったときは、市民生活課 生活環境係または消費者ホットラインに相談ください。